

跡対象者について「追跡対象者ファイル」（磁気データ）を作成する。この「追跡対象者ファイル」の住所地市区町村符号、性別、生年月日、死亡年月日を照合鍵として「死因ファイル」より「追跡対象者ファイル」に付加する。集計は別添2のとおり行う。

〈死因情報を付加したデータセットの利用方法〉

任意の符号に転換した死因が追加された「追跡対象者ファイル」は、国立大学法人 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門内に設置され後記7の保管責任者が管理するコンピュータ内のデータベースに連結可能匿名化データとして保存する。

なお、データベースは氏名、住所、生年月日等の個人情報と分離し、任意の連結可能なIDを用い連結可能匿名化情報として管理する。

## 6 利用期間

(1) 転写CD-R： 承認日～6か月間。

(2) 死因情報を付加したデータセット： 承認日～1年間

(ただし、研究が終了する平成25年3月まで利用期間終了前に延長申出を行う。)

## 7 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

(1) 利用場所

国立大学法人滋賀医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学部門情報処理室2（663号室）内。

(2) 保管責任者

国立大学法人 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦克之

(3) セキュリティ対策

転写CD-Rおよび死因情報を付加したデータセットは、個人認証カードで入退出管理を実施している前記7の研究室内に設置したサーバー室（施錠管理）に設置した専用サーバ内に保存管理し、それ以外の持ち出しを禁止する。また、上記3に記載する者がシステム室内に立ち入る職員をチェックする。

なお、本研究にかかわる調査票情報を保管管理する専用サーバおよび専用端末PCは、外部のネットワークと物理的に接続していない。調査票情報を利用するサーバおよび専用端末PCは全てワイヤー等で固定されており、アンチウィルスソフトの導入、セキュリティホール対策の導入、ID・パスワード認証の導入、スクリーンロックの導入が図られている。

調査票情報（転写CD-R）は利用時以外は施錠可能なボックスに施錠の上保管し、中間成果物は全て暗号化およびパスワード認証された外付けハードディスクに格納しサーバ及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。これらの情報を利用しないときは、当該外付けハードディスクをクライアントから外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管する。

## 8 結果の公表方法及び公表時期

平成24年4月頃、平成23年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生

活習慣病対策総合研究事業)「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA 2010)とNIPPON DATA 80/90の追跡継続に関する研究」班(H22一循環器等(生習)一指定-017)に研究成果を報告する。また、継続して日本公衆衛生学会などへの発表、同研究班報告書および学会機関誌への掲載を行う。ただし、個人の特定が可能となるような属性については秘匿の処置を講ずる。

## 9 転写した調査票情報の利用後の処置

### (1) 転写CD-R

調査票情報並びに分析及び集計に用いた中間集計表についても、当該目的以外に利用しないこととし、利用終了後直ちに焼却または裁断する。

### (2) 死因情報を付加したデータセット

- 1) 保管場所： 国立大学法人 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門内
- 2) 保管期間： 研究が終了するまでの期間
- 3) 保管責任者：国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授 三浦克之
- 4) 保管期間終了後の処置：直ちに消去する。

## 10 著作権

この申出に基づく調査票情報を利用して作成した集計結果について、上記3の利用者は、著作権を主張しない。

## 11 転写した調査票情報の仕様

記録形式	テキスト形式
文字コード	SJISコード
不要項目の処理	ブランク

## 12 事務担当者

担当者	大原 操
所属	国立大学法人 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
住所	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話	077-548-2191
E-mail	misabn@belle.shiga-med.ac.jp

## 別添2

表 側	表 頭
(昭和 55 年ならびに平成 2 年時の調査)	
性, 死因別, 既往歴	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 家族歴	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 自覚症状	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 高血圧歴	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 喫煙歴	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 飲酒歴	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 仕事	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 居住地 (都道府県単位)	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, BMI	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 皮下脂肪厚	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 血圧値	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 心電図判定	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 血液生化学検査値	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 判定 (労作性狭心症)	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 判定 (心筋梗塞)	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 判定 (脳卒中)	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 虚血性心疾患分類	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 日常生活動作	死亡年齢 (5 歳階級)
性, 死因別, 食生活状況調査 (項目別)	死亡年齢 (5 歳階級)

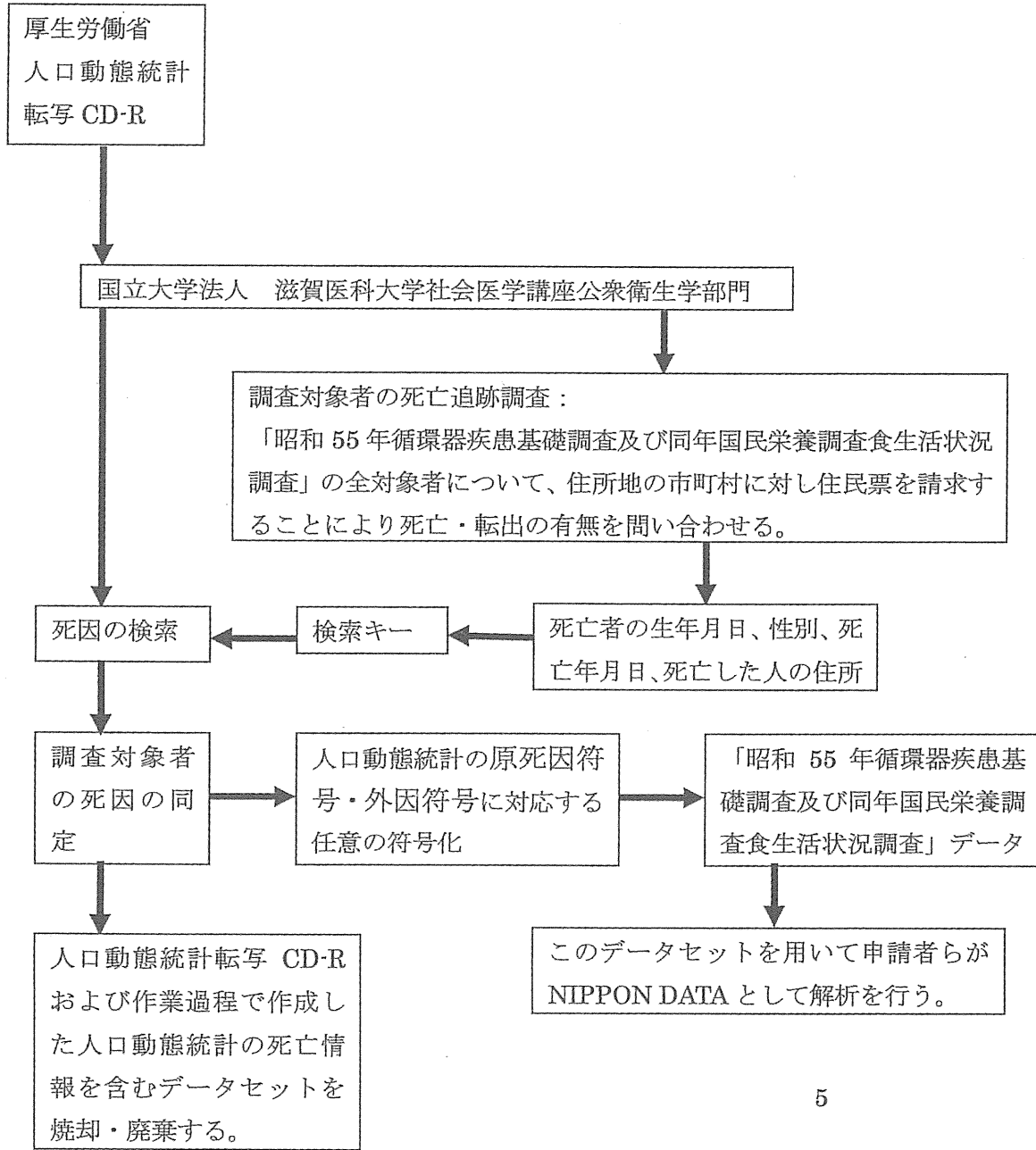
注 1・・・既往歴、家族歴、自覚症状等は 1980 年循環器疾患基礎調査時の情報。

注 2・・・BMI は身長、体重より算出する。

注 3・・・死因は人口動態調査死亡票をもとに任意に作成したものによる。

注 4・・・死因別は死因簡単分類ごとに行う。

別添3 本研究の概要及び研究の流れ



## 資料 12

### 平成 12 年国民栄養調査目的使用外申請書

(別紙)

#### 1 統計調査の名称

平成 12 年国民栄養調査

#### 2 調査票情報の利用目的

平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を受けて行う「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究(H22-循環器等(生習)-指定-017)」の一環として、食生活その他の循環器危険因子の推移について分析する基礎資料を得る。なお研究概要は別添1のとおりである。

#### 3 調査票情報の利用者の範囲

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座教授 三浦克之(研究代表者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 大久保孝義(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 村上義孝(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座特任講師 門田文(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座特任助教 高嶋直敬(研究協力者)

#### 4 利用する調査票情報の名称及び範囲

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (1) 名称    | 国民栄養調査    |
| (2) 年次等   | 平成 12 年   |
| (3) 地域    | 全国        |
| (4) 属性的範囲 | 30 歳以上の男女 |

#### 5 利用する調査事項及び利用方法

##### <調査事項>

使用する調査事項に住所、氏名、生年月日など個人を同定可能な情報は含まない。個人情報票、分類表の調査年、調査名コードを確認し、都道府県、地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号をキーとして分類表と世帯票、循環器疾患基礎調査と結合する。

##### ・平成 12 年国民栄養調査

##### 個人情報票

調査年、調査名コード、都道府県、地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号、性別、年齢、妊婦・授乳婦、仕事の種類、生活活動強度、食事状況{朝・食事種類、朝・食事種類、昼・食事種類、昼・食事種類、夕・食事種類、夕・食事種

類}、世帯人員数、地域ブロック、食事の種類別単位別、食事の単位別種類別、食事の単位別外食の種類別回数、身長、体重、一日の運動量、血圧降下薬、喫煙（喫煙の有無、本数、年数）、飲酒（飲酒の有無、合数、年数）、運動の習慣、血圧、食生活状況調査（問1、問2、問3、）、栄養所要量（エネルギー、蛋白質、カルシウム、鉄、ビタミンA、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンC、ビタミンD、脂肪所要量）、血液検査結果データ（食後時間、RBC、HB、TC、TG、HDL3、TP、GLU（コードおよびデータ））、摂取栄養量（一日）（エネルギー、水分、総たんぱく質（A+B）、動物性たんぱく質（A）、植物性たんぱく質（B）、総脂肪（C+D）、動物性脂肪（C）、植物性脂肪（D）、炭水化物、灰分、カルシウム、鉄、ナトリウム、ビタミンA（A効力）、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンC、ビタミンD、コレステロール、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、一価脂肪酸）摂取栄養量（朝、昼、夕、間食の項目）（エネルギー、水分、総たんぱく質（A+B）、総脂肪（C+D）、炭水化物）

#### 分類票

調査年、調査名コード、都道府県、世帯コード {地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号、世帯人員数}、一日の総量の各項目の食品群別摂取量 小分類105項目すべて

（総量、動物摂取食品、植物摂取食品、穀物、米類、米、米加工品、大麦、小麦類、小麦粉、パン、菓子パン、生めん・ゆでめん、乾めん・マカロニ、即席めん、その他の穀類、種実類、いも類、さつまいも、じゃがいも、その他のいも、いも類加工品、砂糖類、砂糖、ジャム類、菓子類、飴類、せんべい類、カステラ・ケーキ類、ビスケット類、その他の菓子類、油脂類、バター、マーガリン、植物性油脂、動物性油脂、マヨネーズ類、豆類、大豆・大豆製品、味噌、豆腐、豆腐加工品、大豆・その他の大豆製品、その他の豆類・加工品、果実類、柑橘類、りんご、バナナ、いちご、その他の果実、果汁、緑黄色野菜、にんじん、ほうれん草、ピーマン、トマト、その他の緑黄色野菜、その他の野菜(44-51)、大根、たまねぎ、きゃべつ、きゅうり、はくさい、その他の野菜(49)、葉類つけもの、たくあん・その他つけもの、きのこ類、海藻類、調味嗜好飲料、しょうゆ、ソース類、塩、その他の調味料、日本酒、ビール、洋酒・その他、その他嗜好飲料、魚介類、生魚、さけ・ます、まぐろ類、たい・かれい類、あじ・いわし類、その他の生魚、いか・たこ・かに、貝類、魚（塩蔵）、魚介（生干し・乾物）、魚介かん詰、魚介佃煮、魚介練製品、魚肉ハム・ソーセージ、肉類、牛肉、豚肉、鶏肉、鯨肉、その他の肉、ハム・ソーセージ、卵類、乳類、牛乳、チーズ、その他乳製品、その他の食品）

#### <利用方法>

上記3の利用者が、下記7の利用場所において、「利用する調査事項」欄記入の調査票情報（データレイアウトは別添2）の内容を用いて、循環器疾患危険因子の推移についての基礎資料を得るために問診表及び、栄養調査の各栄養素摂取量（カリウム等は別途、食品群より別途算出する）からなる食生活習慣と血液、理学検査及

び循環器疾患基礎調査の心電図異常の関連について、全国及び、地区別（地理的及び、都市及び郡部）に分析を行う。それぞれの関連については、調整因子を調整したモデルを用いて検討する。集計様式は別添3のとおり。

## 6 利用期間

承認日から平成24年3月31日までの間

## 7 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

(1) 利用場所 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門情報処理室2

(2) 利用する環境、保管場所及び管理方法

施錠可能な医学部公衆衛生学部門の情報処理室2室内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止する。また入退室管理システム（個人ICカード及び監視カメラ）によって情報処理室2に立ち入る職員をチェックする。なお情報処理室内のサーバー室に設置されたサーバー及び、11台のクライアントは内部LAN環境となっており、外部ネットワークとは物理的に接続していない。またシステムはアンチウィルスソフト（ESET）の導入、最新のセキュリティパッチの適応などのセキュリティホール対策の導入、ID、パスワード認証及び、スクリーンロックの導入が図られている。また使用する端末は常時、アクセスログを取り漏えい防止及び不正使用防止等の処置を講じている。調査票情報（転写CD-R）は利用時以外、施錠可能なボックスに施錠の上、保管し、保管管理責任者は社会医学講座教授である三浦克之とする。中間成果物はすべてハードウェア暗号化USBメモリーに格納し、サーバー及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。これらの情報を利用しないときは当該USBメモリーをクライアントから外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管する。保管管理責任者は社会医学講座教授である三浦克之とする。

## 8 結果の公表方法及び公表時期

(1) 2012年3月

『平成23年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業：2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究（主任研究者：三浦克之）・研究報告書』として印刷公表する。ただし、個人や世帯の特定が可能となるような属性については公表しない。

(2) 2012年3月以降3年以内

上記研究をまとめ、学術論文として報告する。ただし、個人や世帯の特定が可能となるような属性については公表しない。

## 9 転写した調査票情報の利用後の処置

調査票情報（転写CD-R）並びに分析及び集計に用いた中間成果物についても、当該目的

以外に利用しないこととし、利用終了後直ちに、転写 CD-R は裁断、USB メモリーからは消去する。

#### 1 0 転写した調査票情報の仕様

<u>ファイル形式</u>	テキスト形式
<u>文字コード</u>	SJIS
<u>不要項目の処理</u>	ブランク

#### 1 1 事務担当者

国立大学法人滋賀医科大学 特任助教 高嶋直敬  
住所 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門  
TEL 077-548-2191 E-mail: [takasima@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:takasima@belle.shiga-med.ac.jp)



別添1 厚生労働省研究補助金交付申請書

別添2 データレイアウト

別添3 集計様式

別添4 2010年度厚生労働省研究補助金報告書（申請書等には研究協力者名が記載されな  
いため、研究協力者を記載されている資料として添付）

別添、以下省略

---

平成 12 年循環器疾患基礎調査目的使用外申請書

(別紙)

1 統計調査の名称

平成 12 年 循環器疾患基礎調査

2 調査票情報の利用目的

平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を受けて行う「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究(H22-循環器等(生習)-指定-017)」の一環として、食生活その他の循環器危険因子の推移について分析する基礎資料を得る。なお研究概要は別添1のとおりである。

3 調査票情報の利用者の範囲

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座教授 三浦克之(研究代表者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 大久保孝義(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 村上義孝(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座特任講師 門田文(研究分担者)  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座特任助教 高嶋直敬(研究協力者)

4 利用する調査票情報の名称及び範囲

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (1) 名称    | 循環器疾患基礎調査 |
| (2) 年次等   | 平成12年     |
| (3) 地域    | 全国        |
| (4) 属性的範囲 |           |

5 利用する調査事項及び利用方法

<調査事項>

使用する調査事項に住所、氏名、生年月日など個人を同定可能な情報は含まない。個人票および心電図の調査年、調査名コードを確認し都道府県、地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号をキーとして循環器疾患基礎調査個人票(血液検査の有無とデータを確認)、心電図(心電図検査の有無を確認して結合)、国民栄養調査と結合する。

- ・平成12年 循環器疾患基礎調査  
個人票

調査年、調査名コード、都道府県、地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世

帯員番号、性別、年齢、妊婦・授乳婦、身体状況調査 {身長、体重、血圧、一日の運動量、血圧降下薬、喫煙 (有無、本数、年数)、飲酒 (有無、合数、年数)}、循環器疾患基礎調査 {尿検査 (蛋白、糖)、血液検査有無、質問 1、質問 2、質問 3、質問 4、質問 5、質問 6、質問 7、質問 8、質問 9、質問 10}、食後時間、血液検査結果データ：(TC・総コレステロール、TG・トリグリセライド、HDL・HDL コレステロール、GLU・グルコース、CR・クレアチニン、GTP・γ-GTP、UA・尿酸、BUN・BUN、WBC・白血球)

#### 心電図

調査年 調査名コード、都道府県、地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号、性別、年齢、妊婦・授乳婦、心電図コードすべて (1-0、1-1~3、1-1~2、1-1、1-1-L 前側壁、1-1-1 下壁、1-1-A 前壁、1-2、1-2-L 前側壁、1-2-1 下壁、1-2-A 前壁、1-3、1-3-L 前側壁、1-3-1 下壁、1-3-A 前壁(データレイアウトでは 1-2-A)、2-1~5、2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、3-1~4、3-1+3、3-1、3-2、3-3、3-4、4-1~4、4-1~3、4-1+2、4-1、4-1-L 前側壁、4-1-1 下壁、4-1-A 前壁、4-2、4-2-L 前側壁、4-2-1 下壁、4-2-A 前壁、4-3、4-3-L 前側壁、4-3-1 下壁、4-3-A 前壁、4-4、4-4-L 前側壁、4-4-1 下壁、4-4-A 前壁、5-1~5、5-1~4、5-1~3、5-1+2、5-1、5-1-L 前側壁、5-1-1 下壁、5-1-A 前壁、5-2、5-2-L 前側壁、5-2-1 下壁、5-2-A 前壁、5-3、5-3-L 前側壁、5-3-1 下壁、5-3-A 前壁、5-4、5-4-L 前側壁、5-4-1 下壁、5-4-A 前壁、5-5、5-5-L 前側壁、5-5-1 下壁、5-5-A 前壁、6-1~8、6-1、6-2、6-3、6-4、6-5、6-6、6-8、7-1~8、7-1+2+4、7-1、7-2、7-3、7-4、7-5、7-6、7-7、7-8、8-1、8-1-1、8-1-2、8-1-3、8-1-4、8-1-5、8-2、8-2-1、8-2-2、8-2-3、8-2-4、8-3、8-3-1、8-3-2、8-3-3、8-3-4、8-4、8-4-1、8-4-2、8-5、8-5-1、8-5-2、8-6、8-6-1、8-6-2、8-6-3、8-6-4、8-7、8-8、8-9、9-1、9-2、9-2-L 前側壁、9-2-1 下壁、9-2-A 前壁、9-3、9-3-1、9-3-2、9-4、9-4-1、9-4-2、9-5、9-6、9-7、9-8、心電図判定、心電図検査有無)

#### <利用方法>

上記 3 の利用者が、下記 7 の利用場所において、「利用する調査事項」欄記入の調査票情報 (データレイアウトは別添 2) の内容を用いて以下の循環器疾患危険因子の推移についての基礎資料を得るために国民健康栄養調査の問診表及び、栄養調査の各栄養素摂取量 (カリウム等は別途、食品群より別途算出する) からなる食生活習慣と血液、理学検査及び循環器疾患基礎調査の心電図異常との関連について、全国及び、地区別 (地理的及び、都市及び郡部) に分析を行う。またまた高血圧、脂質異常症、糖尿病の認知率、治療率、コントロール率、慢性腎臓病の割合等について全国及び地区別に分析を行う。集計様式は別添 3 のとおり。

## 6 利用期間

承認日から平成 24 年 3 月 31 日までの間

## 7 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

(1) 利用場所 国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門情報処理室 2

(2) 利用する環境、保管場所及び管理方法

施錠可能な医学部公衆衛生学部門の情報処理室 2 室内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止する。また入退室管理システム（個人 IC カード及び監視カメラ）によって情報処理室 2 に立ち入る職員をチェックする。なお情報処理室内のサーバー室に設置されたサーバー及び、11 台のクライアントは内部 LAN 環境となっており、外部ネットワークとは物理的に接続していない。またシステムはアンチウィルスソフト（ESET）の導入、最新のセキュリティパッチの適応などのセキュリティホール対策の導入、ID、パスワード認証及び、スクリーンロックの導入が図られている。また使用する端末は常時、アクセスログを取り漏えい防止及び不正使用防止等の処置を講じている。調査票情報（転写 CD-R）は利用時以外は施錠可能なボックスに施錠の上、保管し、保管管理責任者は社会医学講座教授である三浦克之とする。中間成果物はすべてハードウェア暗号化 USB メモリーに格納し、サーバー及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。これらの情報を利用しないときは当該 USB メモリーをクライアントから外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管する。保管管理責任者は社会医学講座教授である三浦克之とする。

## 8 結果の公表方法及び公表時期

(1) 2012 年 3 月

『平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業：2010 年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)と NIPPON DATA80/90 の追跡継続に関する研究（主任研究者：三浦克之）・研究報告書』として印刷公表する。ただし、個人や世帯の特定が可能となるような属性については公表しない。

(2) 2012 年 3 月以降 3 年以内

上記研究をまとめ、学術論文として報告する。ただし、個人や世帯の特定が可能となるような属性については公表しない。

## 9 転写した調査票情報の利用後の処置

調査票情報（転写 CD-R）並びに分析及び集計に用いた中間成果物についても、当該目的以外に利用しないこととし、利用終了後直ちに、転写 CD-R は裁断、USB メモリーからは消去する。

## 10 転写した調査票情報の仕様

ファイル形式 テキスト形式

文字コード SJIS

不要項目の処理 ブランク

1.1 事務担当者

国立大学法人滋賀医科大学 特任助教 高嶋直敬

住所 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門

TEL 077-548-2191 E-mail: [takasima@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:takasima@belle.shiga-med.ac.jp)

別添 1 厚生労働省研究補助金交付申請書

別添 2 データレイアウト

別添 3 集計様式

別添 4 2010 年度厚生労働省研究補助金報告書（申請書等には研究協力者名が記載されな  
いため、研究協力者を記載されている資料として添付）

別添、以下省略

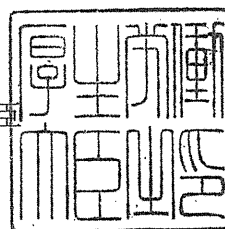
厚生労働省発健 1117 第 5 号

平成 23 年 11 月 17 日

国立大学法人滋賀医科大学

教授 三浦 克之 殿

厚生労働大臣



## 国民栄養調査に係る調査票情報の提供について（通知）

平成 23 年 11 月 7 日付けで申出のあった標記については、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 33 条の規定に基づき調査票情報を提供します。

なお、利用後は、別紙 1 により転写した調査票情報の利用後の処置について速やかに報告するとともに、別紙 2 により調査票情報の利用の成果を報告してください。

また、申出事項に変更が生じたときには、改めて申出を行ってください。

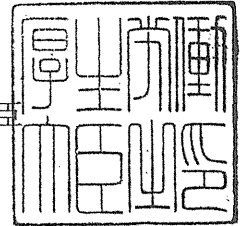
厚生労働省発健 1117 第 3 号

平成 23 年 11 月 17 日

国立大学法人滋賀医科大学

教授 三浦 克之 殿

厚生労働大臣



循環器疾患基礎調査に係る調査票情報の提供について（通知）

平成 23 年 11 月 7 日付けで申出のあった標記については、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 33 条の規定に基づき調査票情報を提供します。

なお、利用後は、別紙 1 により転写した調査票情報の利用後の処置について速やかに報告するとともに、別紙 2 により調査票情報の利用の成果を報告してください。

また、申出事項に変更が生じたときには、改めて申出を行ってください。



## 資料 16

# 2000年国民栄養調査および 2000年循環器疾患基礎調査 調査集計表

## 資料 16-1

### 2000年国民栄養調査 集計表

表 1-1 ナトリウム摂取量と循環器危険因子の関連(別添 3-表 1、循環器基礎別添 3-表 1)

地域区分	食生活項目	カテゴリ	心電図上LVH				高血圧	
			オッズ比	95%信頼区間		オッズ比	95%信頼区間	
全国	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.95	0.67	1.35	0.86	0.76	0.97
		第三分位	0.74	0.53	1.02	0.70	0.62	0.79
人口規模別 都市部地域	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.70	0.50	0.97	0.84	0.70	1.01
		第三分位	0.63	0.46	0.88	0.67	0.56	0.80
郡部地域	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.90	0.70	1.17	0.89	0.76	1.05
		第三分位	0.73	0.57	0.93	0.75	0.64	0.88
地域区分 北海道地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	2.83	0.29	27.57	0.39	0.21	0.72
		第三分位	2.11	0.22	20.61	0.38	0.20	0.73
東北地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	1.92	0.78	4.75	0.78	0.50	1.21
		第三分位	1.59	0.71	3.60	0.72	0.47	1.09
関東地方 1	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.76	0.34	1.73	0.97	0.73	1.30
		第三分位	0.60	0.28	1.30	0.69	0.52	0.91
関東地方 2	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	-	-	-	0.99	0.65	1.51
		第三分位	3.38	0.30	37.49	0.72	0.49	1.07
北陸地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.49	0.16	1.48	0.53	0.26	1.08
		第三分位	0.73	0.24	2.17	0.40	0.20	0.77
東海地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.92	0.49	1.76	1.28	0.91	1.80
		第三分位	0.51	0.28	0.92	0.82	0.59	1.15
近畿地方 1	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	4.05	0.47	34.80	0.78	0.56	1.10
		第三分位	3.35	0.39	28.79	0.71	0.50	1.01
近畿地方 2	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.85	0.05	13.81	0.61	0.30	1.28
		第三分位	0.54	0.03	8.75	0.71	0.31	1.65
中国地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	1.35	0.42	4.33	0.54	0.33	0.87
		第三分位	6.26	0.76	51.37	0.53	0.32	0.86
四国地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.44	0.04	4.87	1.11	0.67	1.84
		第三分位	-	-	-	1.32	0.77	2.27
北九州地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	0.95	-	-	1.11	0.70	1.76
		第三分位	-	-	-	0.83	0.52	1.32
南九州地方	ナトリウム	第一分位	1			1		
		第二分位	-	-	-	0.80	0.51	1.25
		第三分位	-	-	-	0.90	0.54	1.50

表 1-2 カリウム摂取量と循環器危険因子の関連(別添 3-表 2、循環器基礎別添 3-表 2)

地域区分	食生活項目	カテゴリ	心電図上LVH				高血圧	
			オッズ比	95%信頼区間		オッズ比	95%信頼区間	
全国	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	1.29	0.91	1.83	0.85	0.75	0.96
		第三分位	0.87	0.63	1.19	0.63	0.56	0.71
人口規模別 都市部地域	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.88	0.63	1.22	0.87	0.73	1.05
		第三分位	0.64	0.46	0.87	0.63	0.53	0.76
郡部地域	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.70	0.54	0.91	0.84	0.71	0.99
		第三分位	0.59	0.46	0.76	0.65	0.56	0.77
地域区分 北海道地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.87	0.12	6.30	0.66	0.35	1.22
		第三分位	1.38	0.12	15.41	0.31	0.17	0.58
東北地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	1.20	0.43	3.38	0.63	0.40	0.98
		第三分位	0.75	0.31	1.83	0.70	0.46	1.06
関東地方1	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.93	0.45	1.93	0.81	0.61	1.08
		第三分位	1.06	0.50	2.25	0.66	0.50	0.88
関東地方2	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	-	-	-	0.74	0.48	1.14
		第三分位	0.83	0.08	9.22	0.53	0.35	0.79
北陸地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	1.85	0.61	5.58	0.48	0.23	1.03
		第三分位	1.03	0.41	2.61	0.28	0.14	0.56
東海地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	1.53	0.84	2.79	1.02	0.74	1.42
		第三分位	0.96	0.55	1.66	0.88	0.63	1.22
近畿地方1	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.17	0.02	1.50	0.92	0.65	1.30
		第三分位	0.78	0.05	12.50	0.70	0.50	0.99
近畿地方2	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	1.00	-	-	0.61	0.27	1.37
		第三分位	-	-	-	0.38	0.17	0.84
中国地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	4.06	0.83	19.76	1.20	0.73	1.97
		第三分位	1.76	0.51	6.11	0.56	0.35	0.90
四国地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	-	-	-	1.30	0.78	2.17
		第三分位	1.46	0.13	16.33	1.09	0.64	1.86
北九州地方	カリウム*	第一分位	1			1		
		第二分位	0.95	-	-	0.59	0.36	0.94
		第三分位	-	-	-	0.48	0.30	0.78
南九州地方	カリウム*	第一分位	-	-	-	1		
		第二分位	-	-	-	1.10	0.69	1.77
		第三分位	-	-	-	0.77	0.48	1.25

\*カリウム摂取量は食品群別摂取量（小分類 105 項目）の各項目の摂取量とカリウム含有量（日本食品標準成分表 2010 年版等）により各個人ごとに摂取量を各食品群の一日摂取量×食品成分表カリウム含有量の全食品群の合計にて算出した。